

エコアクション21 環境活動レポート

運用期間 平成27年9月～平成28年8月



株式会社 カネミツ

平成29年6月発行

目 次

1 事業概要	1 p
2 許可内容	2 p
3 環境方針	3 p
4 実施体制	4 p
5 環境目標	5 p
6 環境活動計画	6 p
7 環境目標の実績	7 p
8 環境活動計画の取組結果と次年度の取組内容	8 p
9 環境関連法規	9 p
10 代表者による総合評価と見直し	10 p

1.事業概要

1 事業所名

株式会社カネミツ

2 代表者名

代表取締役 金光照男

3 所在地

山口県宇部市港町1丁目6番21号
電話 0836-21-5691 fax 0836-33-4655

4 環境管理責任者及び担当者氏名・連絡先

環境管理責任者 金光優稀 0836-21-5691

5 会社沿革

平成9年2月3日 有限会社 カネミツ 法人設立
平成24年2月1日 株式会社 カネミツ 商号変更による設立
平成25年5月15日 資本金の増資に伴い1,000万円に変更

6 事業の内容

鉄・非鉄金属資源のリサイクル(仕入及び販売)

7 事業規模

資本金	1000万円
従業員数	12名
売上高	1500百万円 (平成27年9月～28年8月)
出荷量	6375t (平成27年9月～28年8月)
敷地面積	1371m ²

8 車両・設備

大型トラック	2台	2tトラック	1台
軽四	1台	普通車	3台
ユンボ	2台	フォークリフト	3台
プレス機	1基	シャーリング	2基
剥線機	1基	ナゲット	1基
金属分析器	1台		

9 認証・登録の範囲(テナントビル部門を除く全組織・全活動)

(1) 対象事業所 金属リサイクル業部門
対象活動 鉄・非鉄金属の買取および販売

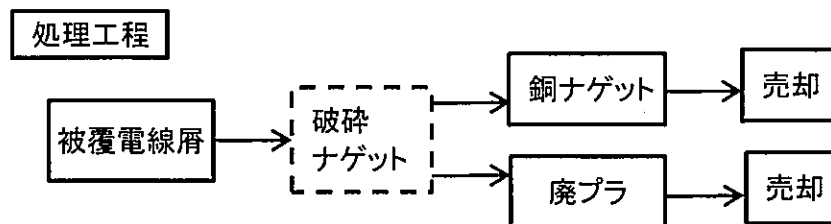
2.許可内容

産業廃棄物収集運搬業許可証

許可番号 第03516080129号
有効年月日 平成33年10月16日
産業廃棄物の種類 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類
(これらは石綿含有産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く。)
以上8種類
積替え保管場所 所在地 山口県宇部市港町1丁目6番3、6番4、6番5
面積 260㎡
種類 廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く。以上3種類)、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類
保管上限 13㎡
高さ 屋内保管

産業廃棄物処分量許可証

許可番号 第03526080129号
有効年月日 平成32年3月2日
事業の区分 中間処理(破砕)
産業廃棄物の種類 破砕: 廃プラスチック類、金属くず、(自動車等破砕物を除く。以上2種類)
(特別管理産業廃棄物であるものを除く。)以上2種類
事業用施設 破砕 設置場所 山口県宇部市港町1丁目6番7号
設置年月日 平成8年5月15日
処理能力 0.8t/日(8時間)
処理方式 ナゲット処理
処理実績 19312kg 平成23年度



3.環境方針

基本理念

国内の産業・経済の発展とともに、また発展途上国のさらなる発展に伴い、金属資源の需要もますます増大して
います。当社は、限りある金属資源のリサイクル活動を通じ、省エネルギーかつ資源の有効利用の循環型エネルギー社会をめざし、社会貢献できるような事業活動をおこないます。

行動指針

省エネルギーに基づき、必要な環境経営システムを構築・運用し、環境負荷の低減を推進します。
また継続的にこれらを行うために環境目標及び活動計画を以下に定め 定期的な見直しを実施します

1. 二酸化炭素排出削減

- 使用エネルギー(電気、化石燃料)の削減に努めます。
- ・収集運搬車の効率的な配車・運行に取り組みます。
 - ・重機機材・作業機材の効率的な使用に取り組みます。
 - ・事務所内の不要電気の排除に取り組みます。

2. 廃棄物の削減

- ・産業廃棄物の適正処理をおこないます。
- ・産業廃棄物の徹底した分別を行い、更なる有価物化に努めます。

3. 水使用量の削減

- ・節水に努め、水使用量の削減に取り組みます。

4. グリーン購入を積極的に推進します。

5. リサイクル品の量的拡大を図ります。

6. 事業活動に関連する環境関連法規等を遵守いたします。

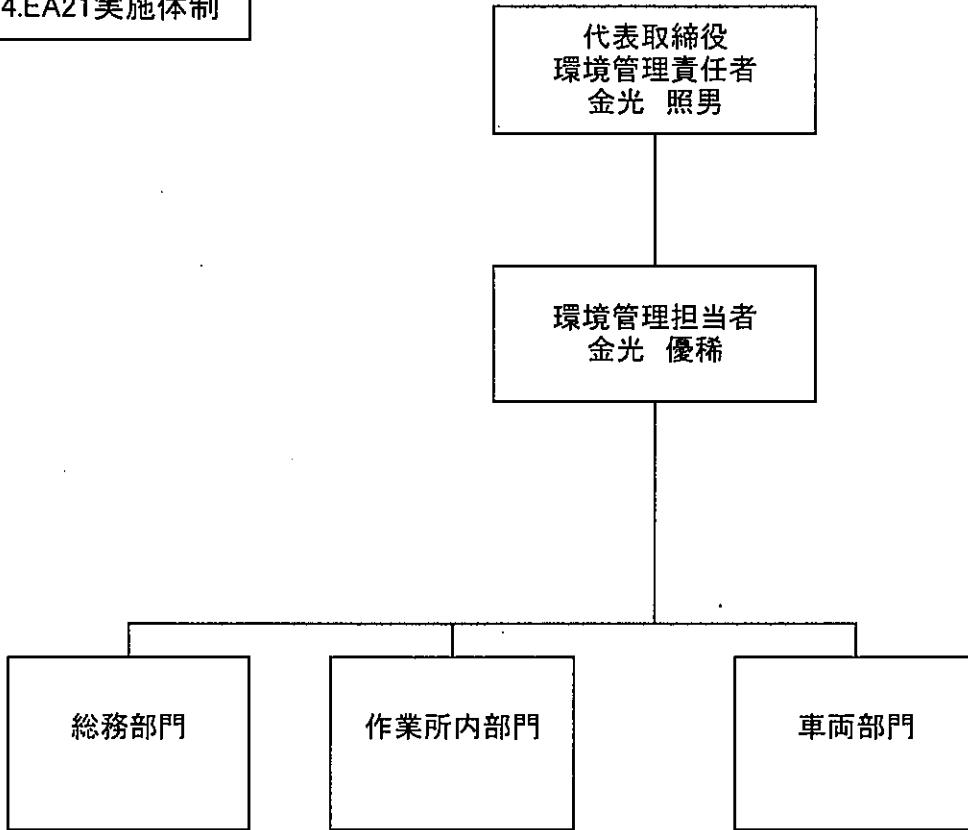
7. この環境方針は、社員全員に周知するとともに、社外へ公表します。

平成25年10月21日

株式会社 カネミツ

代表取締役 金光 照男

4.EA21実施体制



役割分担表

	所属(役職)	役割・責任・権限・使命
	環境管理責任者 (代表取締役)	全体の統括、環境方針の設定、環境への取組みを実施するための資源の準備、全体の評価と見直し。
	環境管理担当者	全体の把握／環境経営システムを構築し、運用し、その状況を社長に報告する。
	総務部門 (EA21事務)	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理。 電力、水消費量の管理など事務所内全般。
	作業所内部門	重機燃料(軽油)消費量管理など作業所内全般。
	車両部門	営業全般、車両燃料(軽油・ガソリン)消費量管理など車両全般。

5.環境目標

環境目標		単位	基準年度	目標		
			平成23/9-24/8	平成27/9-28/8	平成28/9-29/8	平成29/9-30/8
1	二酸化炭素排出量 /出荷額 の削減	kg-CO2/ 百万円	157.7	149.81以下 5%	149.81以下 5%	149.81以下 5%
	電力使用量 /出荷額 の削減	kwh/百万円	54.3	51.58以下 5%	51.58以下 5%	51.58以下 5%
	ガソリン使用量 /出荷額 の削減	ℓ/百万円	3.27	3.10以下 5%	3.10以下 5%	3.10以下 5%
	軽油使用量(車両) /出荷額 の削減	ℓ/百万円	40.9	38.85以下 5%	38.85以下 5%	38.85以下 5%
	軽油使用量(重機) /出荷額 の削減	ℓ/百万円	14.86	14.11以下 5%	14.11以下 5%	14.11以下 5%
2	使用水量/出荷額 の削減	m ³ /百万円	0.71	0.67以下 5%	0.67以下 5%	0.67以下 5%
3	廃棄物総排出量 /出荷額 の削減	kg/百万円	0.26	0.23以下 5%	0.23以下 5%	0.23以下 5%
4	鉄・非鉄金属の仕入額 の増加	百万円	1152	1209.60以上 5%	1209.60以上 5%	1209.60以上 5%
5	グリーン購入の推進	切替品目数	0	3	3	3

注1.電気使用量の排出係数は、中国電力の平成27年度の0.700(CO2 kg/KWh)を使用した。

注2.PRTR対象化学物質を使用していないので、化学物質使用量の削減目標は掲げません。

6.環境活動計画

目標項目	取 組
電力使用量の削減	エアコン温度設定(夏28℃冬20℃)
	不要電燈をこまめに消灯
	省エネ家電(パソコン・コピー機)推進
ガソリン使用量の削減	急加速しない
	タイヤ空気圧チェック
	エンジンブレーキの多用
	アイドリングストップ
	エアコンの使用を控える
軽油(車両)使用量の削減	急加速しない
	タイヤ空気圧チェック
	エンジンブレーキの多用
	アイドリングストップ
	作業中のエンジンストップ
	エアコンの使用を控える
軽油(重機)使用量の削減	重機から長時間離れるときエンジンオフ
	不要な機械の電源をオフ
	エアコン設定温度を決め実行
水使用量の削減	洗車時の節水
	日常の節水
	水漏れ確認
廃棄物総排出量の削減	使用済み紙の裏面利用
	ペーパーレス化への取組
	生ごみ減量への取組
鉄・非鉄金属の仕入額の増加	新規取引先の開拓
	情報収集の強化
グリーン購入の推進	グリーン商品への知識の習得
	グリーン商品の積極購入

7.環境目標の実績

環境目標	単位	平成23/9~平成24年/8月 (基準年度)	平成27/9-平成28/8月		判定
			目標	実績	
二酸化炭素排出量			241175	177785	○
二酸化炭素排出量 /出荷額 の削減	kg-CO ₂ / 百万円	157.7	149.81以下 5%	120.77	○
1 電力使用量 /出荷額 の削減	kwh/百万円	54.3	51.58以下 5%	32	○
2 ガソリン使用量 /出荷額 の削減	ℓ/百万円	3.27	3.10以下 5%	6.97	×
3 軽油使用量(車両) /出荷額 の削減	ℓ/百万円	40.9	38.85以下 5%	22.74	○
4 軽油使用量(重機) /出荷額 の削減	ℓ/百万円	14.86	14.11以下 5%	7.73	○
2 使用水量/出荷額 の削減	m ³ /百万円	0.71	0.67以下 5%	0.06	○
3 廃棄物総排出量 /出荷額 の削減	kg/百万円	0.26	0.23以下 5%	0.25	×
4 鉄・非鉄金属の仕入額 の増加	百万円	1152	1209.6以上 5%	-594	×
5 グリーン購入の推進	切替品目数	0	3以上	1	×

8.環境活動計画の取組結果と次年度の取組内容

二酸化炭素排出量/出荷額 の削減 : 目標達成

前年に比べて出荷額の減少と、其れに伴い軽油使用量(車両)の使用回数の減少とと運送会社を利用した事が要因と思われます。

電力使用量/出荷額 の削減 : 目標達成

今期は、中古のプレス機を撤去し、新しいプレス機を購入した為に、電気の使用料が改善され、目標を達成したと考えられます。今後も電気の節約につながる事を常に考えながら環境活動を行って行きたいと思えます。

ガソリン使用量/出荷額 の削減 : 目標未達成

仕入先と販売先の確保の為に前年に比べるとガソリンを使用しました。今後は、県内は自社車両で県外は鉄道・レンタカーを使用する様に努めて目標を達成したい。

軽油使用量(車両)/出荷額 の削減 : 目標達成

基準年度に比べ、売上げの大幅な増加と外注によるトラックの使用とメーカーからの直接引取が増えたこともあり、目標が達成できた要因と考えられる。今後も自社のトラックに関しては、定期的に車両整備を行い、エコ運転により一層努めたい。

軽油使用量(重機)/出荷額 の削減 : 目標達成

定期的な車両整備を実施し、より一層のエコ運転できるよう、意識をもって作業に勤められるように努力をした行きたいと思えます。

使用水量/出荷額 の削減 : 目標達成

弊社は、ほぼ基本水量しか使用しないので、これ以上の節水はなかなか難しい状況ですが、今後はバケツに水をためて洗車等を心がけ、今一層の削減に努めます。

廃棄物総排出量/出荷額 の削減 : 目標未達成

コピー紙裏面利用をもっと積極的に行う事と、社内の連絡時にメールの活用によるペーパーレス化に向けた取り組みを行っていききたい。

鉄・非鉄金属の仕入額の増加 : 目標未達成

今期は売上げの減少に伴い仕入額も減少しました。来期は、売上の増加に邁進し、目標を達成したい。

グリーン購入の推進 : 目標未達成

グリーン商品に関係する商品をピックアップし、まず再生コピー紙の購入から始めたい。

9.環境関連法規

環境関連法の遵守状況をチェックの結果過去3年間違反はありませんでした

尚 関係当局よりの違反の指摘 利害関係者からの訴訟等もありませんでした

10.代表者による総合評価と見直し

環境活動計画については、売り上げの減少とそれに伴う仕入れの減少によって自社の車両を出来る限り使
外注の車両を使用する頻度が増大して目標と実績の評価に於いて、良い結果につながったと考えられる。

弊社の場合に、会社の成長と環境問題(CO2削減)の相反する問題が鮮明に浮き彫りになり、
改めて重要かつ大きな問題であることが再確認出来た一年だった。

今後、EA21継続していくことにより、環境問題(CO2削減)燃料使用量削減等につながると考えている。

また、環境目標の「鉄・非鉄金属の仕入額の増加」に関しては、現状の実態を考慮すると、

仕入額から出荷量へと変更する必要があるため、次回更新の際に変更する。

今後、特に環境関連法の遵守、金属リサイクル受け入れ拡大により、循環型リサイクル
の構築で、地域社会に貢献し、環境保全に全社員で取り組み、推進していかなければ
ならない。